

お客様各位

株式会社富士通ラーニングメディア

「IT パスポート試験 令和6年度分」の出題傾向分析について

日頃は、FOM 出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

情報処理推進機構(以下、IPA)より4月21日(日)に公開された「IT パスポート試験 令和6年度分」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

【留意事項】

IPAより公開されるのは、CBT試験に出題されている問題から100問を抜粋したものです。この問題は、春期の試験に合わせて年1回公開されることになっています。なお、CBT試験では、受験者ごとに様々な問題がランダムに出題され、同日同会場を受験しても、同じ問題が出題されるわけではありません。

なお、問題の分析は当社独自の判断によるものです。ご了承のうえ、本資料をご利用ください。

記

1. 出題傾向 ～「企業と法務」や「技術要素」の比重が高い～

令和6年度分として公開された問題の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに直近2回分(令和4年度分、令和5年度分)の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	R4 出題数	R5 出題数	R6 出題数
ストラテジ系	企業と法務	18問	19問	17問
	経営戦略	10問	10問	12問
	システム戦略	7問	6問	6問
	小計	35問	35問	35問
マネジメント系	開発技術	4問	5問	6問
	プロジェクトマネジメント	5問	5問	4問
	サービスマネジメント	10問	10問	10問
	小計	19問	20問	20問
テクノロジー系	基礎理論	8問	8問	7問
	コンピュータシステム	9問	8問	9問
	技術要素	29問	29問	29問
	小計	46問	45問	45問
合計		100問	100問	100問

●問題形式別

問題形式	R4 出題数	R5 出題数	R6 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	49 問 (49%)	53 問 (53%)	55 問 (55%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	39 問 (39%)	34 問 (34%)	33 問 (33%)
計算(数値や計算式を求める問題)	9 問 (9%)	9 問 (9%)	9 問 (9%)
表計算(表計算ソフトの利用が問われる問題)	0 問 (0%)	1 問 (1%)	0 問 (0%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	3 問 (3%)	3 問 (3%)	3 問 (3%)
合計	100 問 (100%)	100 問 (100%)	100 問 (100%)

2. FOM テキストの網羅率 ～93%の網羅率を達成～

令和 6 年度分として公開された問題のうち、テキストを学習していれば解答を導き出せる問題の比率を示した網羅率は、次のとおりです。

※参考までに直近 2 回分(令和 4 年度分、令和 5 年度分)の数値も記載しています。

●「令和 6-7 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集」(型番:FPT2315)

テキスト内の解説の有無	R4 網羅率	R5 網羅率	R6 網羅率
テキストで解説している問題 (一般的な知識で解答可能なものを含む)	85 問 (85%)	89 問 (89%)	88 問 (88%)
テキストで解説しているが、補足が必要な問題	7 問 (7%)	3 問 (3%)	5 問 (5%)
テキストで解説していない問題	8 問 (8%)	8 問 (8%)	7 問 (7%)
合計	100 問 (100%)	100 問 (100%)	100 問 (100%)

3. 公開問題分析 ～擬似言語の出題が引き続きあり～

難易度は、前回と同様のレベルでした。今回の試験問題の特徴は、次のとおりです。

- 学校教育でプログラミング教育が段階的に実施されている状況などを踏まえ、プログラミング的思考力として

擬似言語の問題が引き続き出題されました。なお、擬似言語の問題は、シラバス Ver.6.0 の適用が開始された令和 4 年度から出題され続けています。

今回は、前回(令和 5 年度分)と同様に、擬似言語に関する出題が 2 問ありました。出題内容としては、問題文で与えられたプログラム仕様を正しく理解し、擬似言語で記述されたプログラムの処理手順を追いながら解答を求める(=プログラミング的思考力が必要となる)問題内容でした。プログラムを読み解くうえで、擬似言語でどのように記述したらよいか(擬似言語の記述形式)も同時に問われる問題でした。問題を解くのに時間を要することや、アルゴリズムの基本構造の理解を前提とし、問題文で与えられたプログラム仕様からプログラム中に入るコードを導いたり、処理結果を求めたりと、難易度は高いといえます。

IPA から「擬似言語の記述形式」に関する資料が公開されていますので、擬似言語の記述形式(※1)については、あらかじめ参照し、理解しておく必要があります。なお、弊社のテキストでも、この内容をもとに解説しています。

※1:「試験で使用する情報技術に関する用語・プログラム言語など」Ver.5.1

→「別紙 1 擬似言語の記述形式(IT パスポート試験用)」を参照

https://www.ipa.go.jp/shiken/syllabus/doi3um0000002djj-att/shiken_yougo_ver5_1.pdf

- 今回も「技術要素」の中分類「9-5 セキュリティ」からの出題数が 18 問と多かったです。なお、前回の令和 5 年度分では 19 問、前々回の令和 4 年度分では 18 問であり、今回も継続して約 2 割程度出題されています。主な出題内容として、セキュリティ脅威では「ランサムウェア」「DNS キャッシュポイズニング」「ダークウェブ」など、セキュリティ対策・技術では「情報セキュリティの三大要素」「WAF」「ソーシャルエンジニアリング対策」「バイオメトリクス認証(生体認証)」「リスクマネジメント(リスク共有)」「情報セキュリティポリシー」「情報漏えい対策(ストレージのデータ消去)」「共通鍵暗号方式」「公開鍵暗号方式」「デジタル署名」「PIN」「ESSID のステルス化」などが出題されており、セキュリティに関する幅広い知識が要求されました。今後も同様に高い比重で出題されることが予測されるため、試験対策として用語の意味をしっかりと理解しておく必要があります。
- 今回も「企業と法務」からの出題が 17 問と、前回同様に多かったです。企業と法務からは、「CTO」「回帰分析」「データサイエンティスト」「定期発注方式」「実用新案権」「個人情報保護法」「サイバーセキュリティ基本法」「不正競争防止法」「サブスクリプション」「労働者派遣契約」「コーポレートガバナンス」「品質マネジメントの国際規格」など、用語の概要を問う問題が幅広く出題されています。また、「投資回収期間の算出」や「損益計算書からの各算出」といった計算問題も出題されています。
- 問題形式で見ると、「用語」は 55 問、「事例」は 33 問、「計算」は 9 問となっています。「計算」は前回同様に約 1 割の出題で、「用語」と「事例」の比率もほぼ同じでした。なお、事例の問題を解答するには、単純な用語の暗記だけではなく、関連する周辺の知識まで理解しているかどうかは鍵となります。ただし、試験としては、全体を通して引っかけ問題や考え込むような複雑な問題はほとんどなく、比較的わかりやすい問題といえます。
- 毎回シラバスに記載されていない内容が出題されますが、今回も出題されました。「マーケティングオートメーション(MA)」「フェルミ推定」「オープン API」「デジタルディスラプション」「積み上げ法」「Secure Erase」「準天頂衛星」「ISMS クラウドセキュリティ認証」「マルチホップ」などの問題が該当します。シラバスに記載のない用語については、当社のテキストでも解説していないものがあり、今回の網羅率は93%となりました。

4. 試験動向 ～30万人に迫る勢い～

●年間の応募者数

令和5年度の実験者数は、過去最高の30万人にせまる297,864名でした。令和4年度が前年比約4%増加の過去最高の253,159名でしたが、令和5年度はさらに前年比約18%増加と大幅増になりました。なお、情報処理技術者試験には、基本情報処理技術者などの多くの試験区分がありますが、ITパスポート試験は1番多い状況です。

【ペーパー方式からCBT方式へ移行した平成24年度以降】

年度	上期	下期	合計
平成24年度	30,878名	38,105名	68,983名
平成25年度	32,869名	41,522名	74,391名
平成26年度	33,896名	44,824名	78,720名
平成27年度	35,696名	45,253名	80,949名
平成28年度	37,513名	48,792名	86,305名
平成29年度	40,554名	53,744名	94,298名
平成30年度	45,221名	61,951名	107,172名
令和元年度	52,924名	64,999名	117,923名
令和2年度	52,312名	94,659名	146,971名
令和3年度	91,193名	153,061名	244,254名
令和4年度	95,441名	157,718名	253,159名
令和5年度	123,087名	174,777名	297,864名

●月別応募者数

月別実験者数は、上期よりも下期の方が多くなり、かつ年度末にかけて多くなる傾向があります。令和5年度の月別実験者数は、4月から3月までの12か月のうち、すべての月で同月別過去最高を更新しました。

令和3年度	応募者数	令和4年度	応募者数	令和5年度	応募者数
令和3年4月	14,683名	令和4年4月	5,897名	令和5年4月	18,933名
令和3年5月	10,844名	令和4年5月	12,660名	令和5年5月	17,326名
令和3年6月	14,323名	令和4年6月	16,466名	令和5年6月	18,531名
令和3年7月	17,057名	令和4年7月	20,148名	令和5年7月	22,351名
令和3年8月	16,662名	令和4年8月	19,205名	令和5年8月	21,112名
令和3年9月	17,624名	令和4年9月	21,065名	令和5年9月	24,834名
令和3年10月	18,885名	令和4年10月	20,119名	令和5年10月	21,766名
令和3年11月	17,816名	令和4年11月	17,634名	令和5年11月	20,518名
令和3年12月	22,345名	令和4年12月	23,165名	令和5年12月	25,839名
令和4年1月	20,425名	令和5年1月	23,886名	令和6年1月	26,543名
令和4年2月	28,800名	令和5年2月	31,073名	令和6年2月	32,421名
令和4年3月	44,790名	令和5年3月	41,841名	令和6年3月	47,690名
合計	244,254名	合計	253,159名	合計	297,864名

※シラバス Ver.6.2 の適用時期: 令和6年4月～ シラバス Ver.6.3 の適用時期: 令和6年10月～

<【ご参考】教材ラインナップ ～目的別に万全のラインナップ～>

弊社の「ITパスポート試験」教材のラインナップ(発売中)は、次のとおりです。合格を目指す方の習熟度や利用シーンなどに応じてご用意しており、独学はもちろん、学校での授業の教科書としても利用できる構成です。

No.	教材名	型番 価格(税込)	説明
1	令和 6-7 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集	FPT2315 2,420 円	試験主催元から提供されているシラバスに沿った目次構成で、シラバスに記載されている用語を詳細解説する「教科書」。出題範囲の体系的な学習に最適。シラバス「Ver.6.2」対応版。 本試験(CBT 試験)さながらに学習できる「過去問題プログラム」をダウンロードして利用できる。過去問題 800 問(8 回分)を収録。全問に詳細な解説付きで、自動採点機能、弱点補強機能、問題検索機能等あり。 ※添付:自動採点付き過去問題プログラム、 別冊 予想問題 解答と解説 ※購入特典:過去問題 800 問を Web で学習できる Web 試験付き(PC・スマホ・タブレット対応)、学習に役立つ電子書籍「DX ってなんだろう」
2	IT パスポート試験 書いて覚える 学習ドリル	FPT2110 1,210 円	覚えておくべき用語について、解答を書き込みながら学習を進められる補助教材。重要用語を穴埋め形式で、解答を書き込んで覚えられる。 ※添付:別冊 解答
3	IT パスポート試験 直前対策 1 週間完全プログラム	FPT2109 1,430 円	試験頻出の用語に絞って解説した、試験直前対策として最適な暗記用の用語集。携帯に便利なポケットサイズ。添付のカラーフィルムを重ねて、重要用語を効率よく覚えられる。。 ※添付:カラーフィルム

※上記 No.1~3 は、電子書籍でもご提供しています。

※詳しくは、<https://www.fom.fujitsu.com/goods/itpass/index.html> をご覧ください。



以上